

# 文部科学広報

文部科学省 編集



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

## TOPICS

トップアスリートとの特別対談  
スポーツ庁長官  
室伏広治のアスリート近影

### Monthly Line Up

令和3年春の叙勲・褒章について  
第2回日EU教育・文化・スポーツ政策対話を開催  
子供の読書活動の推進 ～4月23日は「子ども読書の日」～  
有形文化財（建造物）の登録について



## TOPICS

13

11

9

7

3

有形文化財（建造物）の登録について  
文部科学省文化庁文化財第一課

子供の読書活動の推進 ～4月23日は「子ども読書の日」～  
文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

第2回日EU教育・文化・スポーツ政策対話を開催  
文部科学省大臣官房国際課

令和3年春の叙勲・褒章について  
文部科学省人事課栄典班

トップアスリートとの特別対談  
スポーツ庁長官 室伏広治のアスリート近影  
スポーツ庁競技スポーツ課  
川井梨紗子選手（レスリング）編



トップアスリートとの特別対談

# スポーツ庁長官 室伏広治のアスリート近影

川井梨紗子選手（レスリング）編

## スポーツ庁競技スポーツ課

室伏スポーツ庁長官が、トップアスリートの生の声に迫ります。

東京2020大会での活躍が期待されるトップアスリートの生の声を通して、競技やアスリートの魅力、スポーツが社会にもたらす前向きな力に迫ります。

新型コロナウイルス感染症により、2020年、世界は一変しました。東京オリンピック・パラリンピックも1年延期となり、大きく変わってしまった日々の中で、トップアスリートはどのような想いで戦い、何を感じているのでしょうか。

日本を代表するアスリートの「今」に迫り、彼らの言葉や姿勢を通じてそれぞれの競技やアスリート自身の魅力、さらには社会におけるスポーツの力を発信していくため、トップアスリートと室伏スポーツ庁長官との対談を実施しました。

3月号、5月号に引き続き、今回は、レスリングの川井梨紗子選手との対談内容を抜粋の上で一部編集して紹介します。

（ファシリテーター 櫻木瑤子 大臣報道官）

## 川井梨紗子選手との対談

### 川井梨紗子選手

初めて出場したりオデジャネイロ（2016）大会において、63kg級で金メダルを獲得。その後、2017年から2019年にかけて、世界選手権でも3連覇中であり、今年の東京大会にも57kg級での出場が内定。

※この対談は、2021年3月に実施したものです。

——川井選手といえば、妹の友香子選手も62kg級で東京大会代表に内定されているということで、室伏長官も、2004年にアテネ大会で、妹の由佳さんとともに出場されています。

**室伏長官** 私も、父親がハンマー投げ選手で、憧れてハンマー投げを始めました。同じようにご両親ともレスリングをされていて、妹さんもされているということですね。

**川井選手** はい、そうです。

——練習の面でも、お互い励まし合いながら、練習されていますか？

**川井選手** そうですね。どちらかが調子が悪くて落ち込んでいたら、「大丈夫だよ」、「明日もあるから頑張ろう」というふうには、励まし合っています。

——川井選手がレスリングを始められたきっかけというのは、「ご両親の影響でしょうか？」

**川井選手** 両親共にレスリングをやっていました。父が遊び感覚で連れて行ってくれたのが始まりです。当時の記憶が全然ないのですが、あとから訊くと、練習場に連れて行かれて、始めてすぐに大会に出させられたようで、もちろん練習してないから負けるのですが、練習してないのに負けて泣いていたらしくて、それで、もうこれからはちゃんとやるって言って始めたらしいです。

**室伏長官** いきなり試合に出させられたのですか。

**川井選手** はい。県内の小さい大会ですけど、そこで男の子に負けたりはしませんでした。

**室伏長官** レスリングの魅力はどんなところにあるのですか。

**川井選手** 相手との駆け引きというか、試合が6分間あるのですが、最後の1秒に逆転があつて勝敗が入れ替わるとか、ぎりぎりまで何があるかわからないっていうのが楽しいです。最後まで絶対勝ちたいっていう気持ちがあるほうが勝てるので、そういう駆け引きが楽しいと思つてやっています。

——2016年の、21歳のときに初出場されたりオデジャネイロオリンピックで金メダルを獲得されたということ、今振り返られてどうお感じですか？

**川井選手** 初めてのオリンピックで、選手村に入るのも初めてで、何もかもが初めてすぎて、はつきりと覚えることは多くはないですけど、何もかもが「すごい、すごい」というか。オリンピックつてこんなに盛大なんだなと衝撃的だったことを一番覚えています。

——オリンピックに出場されると、他の競技の選手との交流もあるかと思いますが、他の競技の選手から、何か刺激をもらったり学んだりすることはあるのでしょうか？

**川井選手** 自分がオリンピックに出てから少しずつ興味を持って、合宿所での他の競技の同級生の子とかと会うことも増え、その子の大会の結果とかも見るようになりました。直接会うと「最近、調子どう？」という話をしたりします。今まではレスリングっていう競技の枠の中でやってきたものが、違う競技だけど同級生っていうつながりがある子たちと、一緒に「頑張ろうね」、「一緒にオリンピック行けたらいいね」という話をするようになったので、刺激がすごく増えました。

**室伏長官** そういう違う競技の方からも学ぶこと

もあるでしょうね。レスリングの枠を超えて、是非頑張ってもらいたいですね。

——今回の東京大会、川井選手にとっては連覇を目指すことになりましたが、長官ご自身も、金メダルを獲得されたアテネ大会の後の北京大会では連覇を目指されました。

**室伏長官** 4年ごとに世界の選手の状況も変わったりするので、前回の大会とは随分状況は違いますが、ベストを尽くしてやりました。

**川井選手** 初めてのときは、世界チャンピオンになったことがない状況で、ただチャレンジャーとし



写真提供：日本レスリング協会

て挑むオリンピックピックでしたが、リオ以降の世界選手権は3連覇していて、世界からの私を見る目も変わっているの、気持ちの面でも違う部分はあります。

**室伏長官** やっぱり平常で普段通りにやるのが大事なんですけど、普段通りになかなかいかないですよ。注目されることは素晴らしいことではある一方で、なかなか自分の思うようにすべてがいくわけじゃないこともあるでしょうし、狙いすぎると、細かいところを忘れちゃったりします。金メダルしか目がないと、技術がおろそかになってしまったりもします。やはり、その瞬間瞬間を大切にしたい、私も、最後の投てきまで一生懸命やろうと思つてやりました。当たり前かもしれませんが、なかなか難しいですよ、普通にやるのは。

**川井選手** 室伏長官は、オリンピックに4大会出場されていますよね。どうしてそんなに長く続けられたのでしょうか。私はいま2回目を目指していて、リオから、4年、5年、すごくあつという間でもありました、苦しいなと思つて。4回となると、そのさらに倍ですよ。

**室伏長官** 最後のほうは、体力も落ちてくるし、コンディションを保つのもすごく難しいです。調子が良い日が毎日あるわけじゃないので、それを上手に合わすっていうのは一番大変なところだったと思います。若い頃は、自分のメンタルなどをコントロールするのが、多少難しかったと思いますが、どの大会も同じではなくて、それぞれテーマが全然違つたので、それなりに全部思い出深いなとは思いますが、でも今回の5年は長いですよ。楽しむって言い方が良いかわかりませんが、レスリングを追求

して、誰もやってないことを是非やって頑張つてもらいたいですね。

**川井選手** はい、ありがとうございます。

**室伏長官** 日本の女子レスリングは強いですよ。吉田選手（吉田沙保里・2004年アテネ大会・2008年北京大会・2012年ロンドン大会・3大会連続金メダリスト）や伊調選手（伊調馨・2004年アテネ大会・2008年北京大会・2012年ロンドン大会・2016年リオデジャネイロ大会・4大会連続金メダリスト）のように、ずっと伝統的に強いですけど、その強みっていうのは何か秘密がありますか。

**川井選手** 沙保里さんや馨さんが、ずっと世界のトップで戦ってきて、レスリングは個人競技なんですけど、練習では、みんなで練習の空気を良くするとか、みんなで盛り上げるっていうようなチーム競技のような練習をしていて、その空気を作つてくださったのが沙保里さんや馨さんでした。個人競技だけど、みんなで頑張れるっていうところが、強みになってるのかと思います。

**室伏長官** これから有望な若手とかも出てきていますか。

**川井選手** もう、たくさんいます。私も、今までは、ただ追いかける立場で上を見て走っていたものが、気づいたら私が上のほうになっていて、下から追いかけてくる子がたくさん出てきて、勢いがすごいなって感じることはすごく増えました。

**室伏長官** 安心していられますか。

**川井選手** 本当にそう思いますね。オリンピックで結果を出すためにも、まだ、下の子には負けられないですし、下からの突き上げがすごく刺激になっ

ています。

**室伏長官** それは素晴らしいですね。

——東京大会の1年延期が決まったときは、心境的にはいかがでしたか？

**川井選手** ここからプラス365日、また練習つてなると「苦しいな」って思う反面、こんな状況なら、延期でも仕方ないだろうなと、冷静に見ている部分もあって、ちょっと複雑でしたね。

**室伏長官** 少しは休養とか、ゆっくりしたりもしたんですか。

**川井選手** トレーニングは毎日していました。最初の緊急事態宣言が出たときは、本当に、道場も開けないという感じで、マットで人と組み合うのもまじできないので。でも、それこそ妹がいてよかったなって思ったのは、妹と2人で、外に走り回ったりと、何かお互いにメニューを出し合つて「これやろう、あれやろう」って言つてやつたりしたのは、姉妹でよかった部分でもあり、1人じゃないからこそ、コロナの自粛期間を乗り越えられたと思つています。

**室伏長官** 実際にレスリングをする以外のトレーニングも、工夫されたのでしょうか。

**川井選手** いつもは大学でトレーニングという感じでしたが、大学が閉まっていたので、家の周りで、どこかトレーニングで使える良い場所はないかと2人で探して、毎日そこに通つてやつてという感じでした。

——ナショナルトレーニングセンターでの、コロナ禍での練習環境はいかがでしたか？

**川井選手** 部屋と練習場と食堂の行き来だけなのですが、どこに行つても、人とソーシャルディスタ



写真提供：川井選手

ンスとったり、消毒液が置かれていたり、検温したりと、細かいところまで対策されているので、安心して使うことができます。

**室伏長官** よかったですね。頑張っているアスリートが安心してトレーニングができるように、我々も精一杯、今後もサポートしたいと思います。

**室伏長官** コロナ禍で、工夫しながらやらなきゃいけないことを前向きに取り組まれている中で、学んだことはありますか。もしくは、スポーツやレスリングの素晴らしさを、改めて気づいたことなどはありますか。

**川井選手** 今まで当たり前にしてきたことが、全部当たり前じゃなくなって、練習もできない状況になってからは、みんなで集まって練習できることも当たり前じゃありませんし、練習が終わって帰ってご飯が出ることも当たり前じゃなくて、みんなと全く会えなくなって、何もかもが普通じゃなかったんだなと思いました。練習は毎日やっていました、その毎日やっていたことが、いろんな条件があつて成り立っていたことを、コロナで実感しました。練習がきついから苦しいなと思うんですけど、その練習へのありがたさというか、久しぶりに練習したときは、だからこそうれしかったですね。

**室伏長官** 1回の練習にかける気持ちが変わってきたということですね。

**川井選手** そうですね。「明日あるからいいや」とか、そうじゃなくて、「明日またどう状況が変わるかわかんないから」とつていうふうに考えるようになって、一つ一つを大事にできるようになつたと思います。

**室伏長官** 次世代のレスリングを目指す子どもたち

ちはまさに今、川井選手を目指していると思うんですけども、こういう大変なときに乗り越えるような力だったり、スポーツがいろいろ教えてくれたこともありますよね、何かメッセージがあればお願いします。

**川井選手** 今コロナが拡大していて大変な状況ではあるんですけども、私が東京オリンピックの代表になるまでの道のりというのが、もう本当に、苦しかった時期だったので、それを乗り越えて代表になったときの嬉しさは、本当に、今までにないくらいの喜びでした。今はコロナで大変な状況で、みんなが逆境で苦しい状況ではありますが、この苦しい状況で我慢していることが、いつかきつと「あのときこういうことがあったけど、今はこうなつたからよかったね」という風になると思うので、それを信じて、苦しい中でも前向きに頑張れたら良いなと思います。

——この動画を御覧になつている国民の皆様へメッセージ

**川井選手** このような状況の中で開催されるオリンピックに、色んな声があることもわかっているんですが、やるからには私も一生懸命やりますし、金メダルを獲るために頑張りますし、こういう状況だからこそ、一人一人が頑張つて、目標に向かって努力することの素晴らしさというのがスポーツにはあると思うので、そういった姿を、テレビ等を通して観てもらつて、明るいニュースを届けられたら良いなと思います。

全体の対談の様子はスポーツ庁HPから御覧ください。

# 令和3年春の叙勲・褒章について

文部科学省人事課栄典班

## 令和3年春の叙勲

令和3年春の叙勲が4月29日付で発令され、4,136名が受章されました。  
文部科学省関係の受章者は、742名で、そのうち重光章受章者は次の方々です。

### 瑞宝重光章・5名

- ◆ 相澤 益男（あいざわ ますお）  
東京工業大学名誉教授、元東京工業大学長
- ◆ 河田 悌一（かわた ていいち）  
関西大学名誉教授、元関西大学学長
- ◆ 白川 哲久（しらかわ てつひさ）  
元文部科学審議官
- ◆ 銭谷 眞美（ぜにや まさみ）  
元文部科学事務次官
- ◆ 永井 和之（ながい かずゆき）  
中央大学名誉教授、元中央大学学長

## 令和3年春の褒章

令和3年春の褒章が4月29日付で発令され、685名の方々が受章されました。  
文部科学省関係の受章者は27名と1団体です。  
受章者は次の方々です。

### 紫綬褒章・18名

- ◆ 福田 慎一（ふくだ しんいち）  
東京大学教授 マクロ経済学
- ◆ 西森 秀稔（にしもり ひでとし）  
東京工業大学名誉教授 統計物理学
- ◆ 佐藤 薫（さとう かおる）  
東京大学教授 大気科学
- ◆ 加藤 隆史（かとう たかし）  
東京大学教授 高分子化学
- ◆ 神取 秀樹（かんどり ひでき）  
名古屋工業大学教授 生物物理学

- ◆ 長田 裕之（おさだ ひろゆき）  
国立研究開発法人理化学研究所環境資源科学研究センターグループディレクター  
生物有機化学

- ◆ 中山 敬一（なかやま けいいち）  
九州大学教授 分子生物学

- ◆ 水島 昇（みずしま のぼる）  
東京大学教授 細胞生物学

- ◆ 川上 正舒（かわかみ まさのぶ）  
元自治医科大学教授 発明改良

- ◆ 塩野 貴史（しおの たかし）  
元キリン(株) R&D本部飲料技術研究所  
主任研究員 発明改良

- ◆ 宮崎 美津恵（みやざき みつえ）  
元東芝メデイカルシステムズ(株)技監  
発明改良

- ◆ 宮本 裕（みやもと ゆたか）  
日本電信電話(株)未来ねっと研究所フェロー  
発明改良

- ◆ 佐藤 卓（さとう たく）  
グラフィックデザイナー

◆長木 誠司（ちようき せいじ）  
音楽評論家

◆金盛 穰（かなもり じよう）  
舞踊家

◆田中 紳一（たなか しんいち）  
（芸名 鶴澤 燕三）重要無形文化財

「人形浄瑠璃 文楽」（総合認定）保持者  
人形浄瑠璃文楽三味線演奏家

◆松原 伸生（まつばら のぶお）  
染織作家

◆鳥毛 清（とりげ きよし）  
漆芸作家

### 藍綬褒章・3名

◆後藤 泰之（ごとう やすゆき）  
（学）名古屋電気学園理事長

◆杉山 一夫（すぎやま かずお）  
（学）杉山第三学園理事長

◆高橋 邦夫（たかはし くにお）  
（学）高橋学園理事長

### 黄綬褒章・5名

◆吉川 照博（よしかわ てるひろ）  
（株）吉川隆文堂代表取締役 教科書供給業

◆森 靖夫（もり やすお）  
（有）村上澄好商店社長 教科書供給業

◆高梨 好司（たかなし よしじ）  
高梨文具店代表者 教科書供給業

◆片山 敬一（かたやま けいいち）  
元海洋建設（株）代表取締役 考案改良

◆齋藤 義貴（さいとう よしたか）  
大成技研（株）代表取締役 考案改良

### 緑綬褒章・1名・1団体

◆かわだ 文庫（かわだ ぶんこ）  
社会教育奉仕団体

◆岡部 孝子（おかべ こうこ）  
社会教育奉仕者

# 第2回日EU教育・文化・スポーツ政策対話を開催

文部科学省大臣官房国際課

令和3年5月10日（月）、文部科学省と欧州委員会教育文化総局との間で、第2回日EU教育・文化・スポーツ政策対話をテレビ会議形式で開催しました。この特集では、政策対話の概要と成果文書として採択された「共同声明」について紹介します。

本政策対話は、平成28年5月に開催されたG7教育大臣会合におけるEUからの提案を受けて、教育・文化・スポーツに関する政策の情報交換、協力強化と相互理解の醸成に向けた方策の検討のために開始することに合意し、平成30年7月に、EU側主催で第1回を開催しました。

第2回政策対話には、日本側から萩生田光一文部科学大臣、丸山洋司文部科学審議官、EU側からマリヤ・ガブリエル欧州委員（イノベーション・研究・文化・教育・青少年担当）、テミス・クリストフィドール教育文化総局長をはじめとする日EU関係者が出席しました。また、欧州連合日本政府代表部及び駐日欧州連合代表部から、正木靖特命全権大使とパトリシア・フロア特命全権大使が出席しました。



今回の政策対話では、閣僚級会合に先立って次官級会合を開催し、教育・文化分野の政策や取組状況について意見を交換し、その結果が閣僚級会合へ報告されました。閣僚級会合では、次官級会合の報告も踏まえ、萩生田大臣とガブリエル欧州委員により、教育・文化・スポーツ分野の政策について意見交換を行いました。特に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた取組が共有され、ガブリエル欧州委員からは、東京大会の開催の意義を積極的に評価する旨の発言がありました。また、萩生田大臣とガブリエル欧州委員のイニシアチブにより日EU間の協力を更に促進するため、日EU間の研究者交流を実施するための支援について検討を進めることに合意しました。

今回の政策対話を通じて、引き続き、教育・文化・スポーツ分野における日EU間の協力を進めていくことを確認し、共同声明を採択しました。次回の政策対話は、令和5年にEUで開催される予定です。

萩生田光一 文部科学大臣とマリヤ・ガブリエル 欧州委員（イノベーション・研究・文化・教育・青少年担当）は、本日、ビデオ会議形式で、日本と欧州連合（EU）の間の教育・文化・スポーツ

**第2回目EU教育・文化・スポーツ  
政策対話 共同声明（仮訳）**

東京2021年5月10日



分野に関する第2回政策対話を開催した。

本政策対話を通じて、教育・文化・スポーツ分野の取組及び国際協力を一層推進することの重要性を確認した。これらの分野における連携、協力及び事例共有はそれ自体重要であるが、これら全ての分野に大きな打撃を与えたコロナ禍において新たな意味を持ってきており、現在、そしてポストコロナ時代にこの協力を推進していくことに合意した。

**教育分野**に関しては、コロナ禍において、あらゆる教育段階におけるデジタル技術を活用したオンライン学習の有効性を強調した上で、特に、教員と生徒等の対面でのやり取りの重要性に留意しつつ、教員のデジタル・スキルの強化の重要性を共有した。また、高等教育における協力及び国際交流の重要性を確認するとともに、第1回目EU政策対話の成果として新たに開始した、日EU共同修士課程プログラムの進展を歓迎し、その統合されたプログラムの良い影響を認識した。さらに、日本及び欧州における新型コロナウイルス感染症の高等教育の実践への影響を踏まえ、対面交流の重要性並びに高等教育の新たな戦略及び役割の必要性について一致した。

**文化分野**に関しては、コロナ禍を克服し文化芸術活動を再活性化していくことの重要性やG20文化大臣会合における議論への貢献、東アジア文化都市と欧州文化首都との交流強化による日EU間の文化交流の緊密化について認識を共有した。

**スポーツ分野**に関しては、特に大規模イベントの開催を含め、スポーツ分野を支援する方法に関して相互に学び、連携する意欲を確認した。この文脈において、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組を通じた日本の経験を共有した。また、スポーツ外交及びそれがもたらす国際協力の機会を強調し、スポーツ分野について日EUの共通の関心が示された。

萩生田大臣とガブリエル委員は、日本のプログラムとEUの研究者交流の旗艦プログラムであるマリーキュリアクションプログラム(MSCA)間の可能な連携の下で、日EUの研究者がそれぞれ欧州と日本で研究を行う共通の機会を拡大するための新しい支援について追及することに合意した。

相互理解及び協力の促進に向けて、文部科学省とEUの間の**短期行政官交流**を継続することにも合意した。

これらの教育・文化・スポーツ分野における日EU間のイニシアチブは、特に日EU定期首脳協議及び日EU戦略的パートナーシップ協定(SPPA)における人的交流の重要性を強調する趣旨と合致している。

本政策対話を通じた閣僚レベルの協議の重要性を再確認し、次回の政策対話をEUが開催することと一致した。

# 子供の読書活動の推進

4月23日は「子ども読書の日」

文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

国民の間に広く子供の読書活動について関心と理解を深めるとともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた取組を行っている学校、図書館及び団体(個人)を表彰しています。

## 子供の読書活動の推進

読書は、子供にとって、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付ける上で欠かせないものです。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、国民の間に広く子供の読書活動について関心と理解を深めるとともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子ども読書の日」を設けること、「子ども読書の日」は、4月23日とすること、国及び地方公共団体は、「子ども読書の日」の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならないとされています。そのことにより、「子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資する」ことを目的としています。



## 子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)表彰

文部科学省では、平成14年度から、国民の間に広く子供の読書活動について関心と理解を深める

とともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた取組を行っている学校、図書館及び団体(個人)を表彰しています。今年度は、優秀実践校132校、優秀実践図書館43館、優秀実践団体(個人)52団体(名)が表彰されました。

## 「子どもの読書活動推進フォーラム」の開催

文部科学省では、独立行政法人国立青少年教育振興機構との共催で、「子ども読書の日」(4月23日)を記念し、「子どもの読書活動推進フォーラム」を開催しており、あわせて文部科学大臣表彰の表彰式を行っております。

本年については、新型コロナウイルス感染拡大が続く現状を踏まえ、プログラム及び実施方法を

一部変更し、規模を縮小したうえで開催しました。式典では、主催者を代表して丹羽秀樹文部科学副大臣が挨拶し、来賓の「子どもの未来を考える議員連盟」の河村建夫会長から御祝辞を頂きました。表彰式では被表彰校等を代表し、左記の学校等が丹羽副大臣より表彰を受けました。

(すべて東京都)

- ・世田谷区立烏山小学校
- ・東京都立品川特別支援学校
- ・千代田区立千代田図書館
- ・国分寺市立図書館
- ・練馬区立南大泉図書館分室 こどもと本のひろば
- ・おはなし宅配便ポポ

続いて、東北大学加齢医学研究所の川島隆太郎長に「読書が子どもの脳を育てる」をテーマにご講演いただき、本年度文部科学大臣表彰を受賞された新潟市立白山小学校、藤枝市立図書館、一般財団法人大阪国際児童文学振興財団の皆さんに事例発表をしていただきました。

なお、本年は表彰式及び特別講演・事例発表(事前収録)を、YouTubeでライブ配信しました。表彰式と事例発表の様子は、こちらから御覧いただけます。

URL :  
<https://www.youtube.com/watch?v=6rHMJde77u8>



## 「子供の読書キャンペーン」特設ページ

昨年3月16日に開設した「子供の読書キャンペーン」特設ページについて、この度、令和3年度の「子ども読書の日」(4月23日)に合わせ、デザインや内容の更新を行いました。

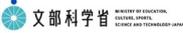
この特設ページでは、著名人のおすすめの本や、読書関係団体の取組等を紹介していますが、今回の更新では、萩生田光一文部科学大臣からの児童生徒や保護者を対象としたメッセージや「著名人のおすすめ本」を追加しています。

これらの情報も参考にしつつ、子供たちが家庭等で、一層、読書に親しんでいただけることを期待しています。

URL :  
[https://www.next.go.jp/a-menu/kusei/gakusyushien/campaign\\_2021.html](https://www.next.go.jp/a-menu/kusei/gakusyushien/campaign_2021.html)



文部科学省では引き続き、平成30年4月20日に閣議決定された第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」に基づき、学校、図書館、読み聞かせ等を行っている民間団体、家庭等と連携し、「ブックスタート」、「ピブリオバトル」や「家読(うちどく)」など、子供たちが自主的な読書習慣を身に付ける様々な取組を推進してまいります。


**文部科学省**

子供の読書キャンペーン

-もっとひろがれ!本の森-

令和3年は「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行20周年です

萩生田光一文部科学大臣のメッセージ



(※大臣のメッセージヘリンク)

こどもの教育応援大使  
香川照之さんのメッセージ



(※「YouTube」文部科学省動画チャンネルヘリンク)

# 有形文化財（建造物）の登録について

文部科学省文化庁文化財第二課

文化庁では、国宝・重要文化財以外の有形文化財のうち、保存及び活用についての措置が特に必要とされるものについて、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する「文化財登録制度」による緩やかな保護措置を講じています。

文化庁では、国宝・重要文化財以外の有形文化財のうち、保存及び活用についての措置が特に必要とされるものについて、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する「文化財登録制度」による緩やかな保護措置を講じています。文化庁では、国宝・重要文化財の指定のほか、文化財登録制度による登録を毎年行っています。令和2年度に開かれた文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに462件の有形文化財（建造物）を登録することとなりました。この結果、官報告示を経て、全国の登録有形文化財（建造物）は、13,097件となります。以下、新たに登録されることとなった建造物の中から、特徴的な8件を御紹介します。

## 1 旧藤澤カントリー倶楽部 クラブハウス（グリーンハウス）

所在地：神奈川県藤沢市

藤沢市の中央部に位置し、A・レーモンドの設計になります。切妻造り三階建ての正面に大きな車寄を張り出し、背面に二階建てをのびし、一階はホールの廻りに各室をならべ、二階は吹き抜けのラウンジとなります。車寄など開口部の半円アーチによる構成、青緑色のスパニッシュ瓦葺き屋根、アイアンワークの手摺など、全体をスパニッシュの手法でまとめ、現存する戦前のゴルフクラブハウスとして希少です。



写真提供：神奈川県



写真提供：一般財団法人協田美術館

2

脇田和アトリエ山荘

所在地：長野県軽井沢町

昭和から平成にかけて活躍した洋画家・脇田和のアトリエ兼山荘で、設計者の吉村順三は東京藝術大学の同僚です。一階を鉄筋コンクリート造のピロティとし、主要な室は木造の二階に配します。くの字形の長大な平面を東西に分け、東棟はリビングや寝室等とし南に大きな開口を開けて庭を望みます。西棟は矩形平面のアトリエと書斎。設計者・吉村順三の作風が表れるモダニズム住宅の佳品です。

3

太田喜二郎家住宅主屋兼アトリエ

所在地：京都府京都市



関西の洋画界で活躍した太田喜二郎のアトリエ付住宅です。太田は東京美術学校で黒田清輝に師事したのち、ベルギーに留学。京都帝国大学の建築学科で絵画講師を務め、同僚の建築家・藤井厚二に設計を依頼しました。食堂を中心に、東に舟底天井の応接室とアトリエ、南にサンルーム、西に家政部を配し、とりわけ食堂の三畳大の上段や長椅子などの造り付け家具、内壁の幾何学的意匠に、藤井の作風がよく示されます。

4

旧摩耶観光ホテル

所在地：兵庫県神戸市



撮影：前畑洋平・温子

摩耶山南麓中腹に建つもとホテルです。L字形平面を持つ地下2階、地上2階建ての鉄筋コンクリート造で、四層の外観各階に水平連続庇をまわして曲面を強調し、大きな開口を開けます。内部の大ホールや食堂は、コンクリートの大梁を表して大空間を分節し、舞台等の内装にアールデコ調意匠をみせます。かつての山上リゾート施設の有様を示します。



5

## 島根県立図書館

所在地・島根県松江市

旧松江藩の薬草園跡地に位置する鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建ての図書館です。隣接する武道館とともに、島根県に多数の公共建築を残した菊竹清訓の設計になります。L字形の閲覧室を敷地形状にあわせて配置し、中央ロビーに鉄骨屋根を架けて展示や休憩スペース等を配した合理的な平面構成を持ちます。外部の壁柱を松江城山公園に向けて揃え、眺望を確保しています。



写真提供：北村徹

6

## 愛媛県庁本館

所在地・愛媛県松山市

木子七郎設計、内藤多仲構造設計、安藤組施工の県庁舎で、H形平面を持ち、鉄筋コンクリート造地下一階、地上四階建てになります。中央の車寄せ上部に三連の半円アーチを並べ、頂部にドームを冠した塔屋を載せて両翼を張り出します。外観は装飾を車寄せ開口と窓廻りの縁取りに留め、石積に平滑なモルタル仕上とするなど記念性と近代性を兼ね備えた意匠を持ち、内部は中央階段室や正庁等を華麗に飾ります。



7

## 久留米大学本館

所在地・福岡県久留米市

旧制九州医学専門学校の本館として建築され、九州に多数の作品を残した建築家・松田昌平の設計になります。平面はコの字型で、正面二階の中央に車寄せを設け、ロンバルディア帯で飾ります。車寄せ上部を三連アーチ窓とし、両翼は三層を貫く二連のアーチ枠を並べ、矩形の窓を穿ちます。内部は三階中央を大会議室とし、ほかは廊下の両側に事務室等を並べ、ロマネスク様式を基調とした格調高い大学本館です。



8

屋久島灯台ほか1件

所在地：鹿児島県熊毛郡屋久島町

台湾の開発のため陸軍省が設置した台湾航路8灯台のうちの一基で、設計は臨時台湾燈標建設部になります。屋久島北西の永田岬に位置し、煉瓦造の灯塔上部にバルコニーを廻らし、下部に扇形平面の附属舎をもつ。入口にペディメントと柱形を表し、附属舎とも軒に歯飾を飾ります。現存す

る明治期灯台で最南部に位置し、峻険な要衝の景観に寄与しています。

# 文部科学広報



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

文部科学広報 令和3年6月号 No.259

(発行・著作)

文部科学省大臣官房総務課広報室

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL : 03-5253-4111 (代表)

URL : <https://www.mext.go.jp/>

E-mail : [mextjnal@mext.go.jp](mailto:mextjnal@mext.go.jp)

# 令和3年度 文部科学広報 バックナンバー



## 4月号 No.257

### 特集

文教・科学技術施策の動向と展開  
令和3年度文部科学行政の推進



## 5月号 No.258

### TOPICS

都倉 俊一 新文化庁長官就任  
トップアスリートとの特別対談  
スポーツ庁長官 室伏広治のアスリート近影



文部科学広報トップページ



文部科学広報バックナンバー